

めでたく満100歳 鈴木忠七さん(小浜)

この世に生を受けて一世紀、12月4日に鈴木忠七さん(小浜)がめでたく満100歳を迎えられ、二本松市から賀寿、同じく福島県から賀寿と木杯が贈られました。

鈴木さんの長寿の秘訣は、「食べ物をよく噛んで食べ、腹八分目にする。毎日、健康器具を使って運動すること」だそうです。鈴木さんのますますのご長寿をお祈りします。



▲鈴木忠七さん

子どもたちの五感を通して食を学ぶ 新殿小でマグロの解体見学

子どもたちの五感を通して福島県産を感じてもらおうと、新殿小学校で県教育委員会の食育事業「いただきます。ふくしまさん」が行われ、いわき市のいわき海星高校の生徒が航海実習で捕ったメバチマグロの解体を、児童らが見学しました。その日の給食には、高校生が航海実習で捕ったカジキマグロを使ったカツが献立として提供された他、海星高校の生徒から「はえ縄漁業」について説明があり、子どもたちは、高校生のお兄さんたちの話に真剣に耳を傾けていました。



第28回ふくしま駅伝 昨年より順位を上げ敢闘賞を受賞

11月20日、「第28回ふくしま駅伝」が開催され、5時間16分34秒のタイムで総合8位(市の部7位)の成績を収め、敢闘賞を受賞しました。

二本松市チームは、1区の佐藤菜菜選手が区間5位の好位置で襷を渡すと、中盤の選手が粘りを見せ、大玉村から二本松市役所までの12区では、土屋祐太選手が区間賞となる力走を見せました。



▲区間賞の走りを見せた土屋選手(左)から阿部選手(右)へ襷リレー



▲ゴールテープを切るアンカーの武藤浩哉選手

都市緑化功勞で大臣表彰 色鮮やかな花々で、二本松を明るく元気に

都市緑化功勞者国土交通大臣表彰を受けた湯川村の渡部園芸社長・渡部貞雄さんに対する感謝状伝達式が12月8日、市役所で行われました。福島市の花卸売市場へ行く途中に二本松市を以前から通っていた渡部さんは、東日本大震災翌年の平成24年、二本松が元気になってほしいと花苗の寄贈を始め、現在までに累計で5万7千ポット(570万円相当)を寄贈してくださっています。いただいた花苗は、安達ヶ原ふるさと村などに植えられ、訪れる人を楽しませてくれています。



▲渡部貞雄さん(左)と新野市長

2017年1月 競輪開催日程

4~7 立川記念 水 土 [G III]	8~11 和歌山記念 日 水 [G III]	
14~17 大宮記念 土 火 [G III]	19~22 松山記念 木 日 [G III]	26~29 いわき平記念 水 日 [G III]

2017年1月オートレース開催日程

2~4 川口オート	2~4 飯塚オート
5~9 シルクアップGI	10~12 山陽オート
18~22 オーバルチャンピオンGII	
23~26 伊勢崎オート	27~30 浜松オート

お得情報

① 11時までにご来店のお客様に
入場ポイント2倍!
さらに5と0の付く日は
ポイント最大3倍!
② 毎週水曜日・日曜日は
10時~ウェルカムドリンク

あたらう占い 1月
ベスト3 血液型 幸運色

おひつし座	A	黄
てんびん座	O	赤
うお座	AB	白

詳しくはサテライトあたらうホームページ&ツイッター
あたらう
 サテライト
 ☎ 0243-53-2267

相続サポートあだち

相続/遺言無料相談会

◇ 2月1日(水) 午後6時~8時

◇ 二本松市勤労者研修センター 2階(郭内北小隣り)

行政書士 石川晃雄 (☎23-4460 原七諏訪236)

行政書士 佐藤直人 (☎23-5980 油井字前作171)

◎電話で石川までご予約ください。◎相続遺言に係る文書作成に関する相談会です。 ◎守秘義務を守りますので安心してご相談下さい。

第5回 二本松市一周駅伝競走大会

勝利への思いを襷に込めて73チームが参加

第5回二本松市一周駅伝競走大会が11月27日に開催され、小学生の部44チーム、中学生の部13チーム、一般の部16チームが初冬の二本松路を駆け抜けました。結果は次のとおりです。

- 小学生の部 第1位：杉田スピードランニング
第2位：東和小A
第3位：東和ランニングクラブ
- 中学生の部 第1位：東和中
第2位：安達中
第3位：二本松二中Bチーム
- 一般の部 第1位：二本松ランニングA
第2位：安達RC-A
第3位：幡中アスリートクラブ



▲中学生・一般の部のスタート



▲小学生の部優勝の杉田スピードランニング

平成28年度 現代の名工に大七酒造の杜氏が選出

より良い酒を造り、世界に広げていきたい

卓越した技能者をたたえる厚生労働省の平成28年度「現代の名工」に、大七酒造(株)杜氏の佐藤孝信さんが選ばれ、12月2日に市役所を訪れ受賞報告をしました。佐藤さんは、江戸時代から続く日本酒の伝統的醸造法「生酛造り」の技術を保有する数少ない酒類製造工であり、独自の工夫で生酛を近代的に改良するなど、業界第一人者として活躍していることが評価されての受賞となりました。

今回の受賞を受け佐藤さんは「まだまだ未熟だが、いい酒造りに一層精進していきたい。また現在は世界20カ国ほどに大七酒造の酒を出荷しているが、これからはもっと広げていきたい」と意欲を示しました。



▲左から大七酒造(株)の太田英晴社長、杜氏の佐藤孝信さん、新野市長

安達東高校が復興ビジネスコンテスト2016で優秀賞

Bee(蜂)Ambitious！養蜂で『第3のみつ』開発

東日本大震災の被災地における地域産業の復興や地域振興に資する事業を展開している方を表彰する「新しい東北」復興ビジネスコンテストで、安達東高等学校の生徒が取り組む養蜂を利用した「第3のみつ」の商品開発が、優秀賞とJR東日本賞のダブル受賞し、喜びの報告のため市役所を訪れました。

「第3のみつ」とは、ミツバチに濃縮した羽山のリンゴジュースを吸わせてできる、ほんのりリンゴの香りがする蜂蜜のことで、生徒たちは「頑張ったかいがあった」と苦労を振り返って話をしていました。若者の力とアイデアで、二本松市の特産品が今後ますます増えていくことを期待します。



▲左から安達東高校の鳴原由香里さん、平豪さん、新野市長、安齋美咲さん

960年余りの伝統を誇る国指定重要無形民俗文化財

初冬の青空に色鮮やかな五反幡

12月4日、師走の風物詩「木幡の幡祭り」が開催されました。東和地域の木幡地区にある9つの堂社(集落)の住民が大小100本の幡を掲げ、色鮮やかに里山の空を彩りました。今年、権立(初参加する若者)となった19歳の齋藤遼太郎さんと福田竜聖さん2人は、「胎内くぐり」といわれる成人の儀式を羽山神社で行い、晴れて大人として認められました。(写真左から)権立の福田さんと齋藤さん▶

